

## 地域自然情報ネットワーク 第 20 期事業報告書

2022 年 7 月 1 日から 2023 年 6 月 30 日まで

### 1. 自然環境の調査解析にかかわる技術の企画・開発および評価事業

- 植生管理と環境教育システムの研究開発事業（梶並）

科研費（科学研究費助成事業）により国立科学博物館が行った研究（「GIS を用いた植生管理と環境教育システムの開発による天然記念物の保護と活用（課題番号：18H00761）」）に協力した。報告書は公開されている（<https://shizen-mechanism.kahaku.go.jp/about-site/>）。

### 2. 自然環境情報の整備・公開事業

- 国立科学博物館附属自然教育園内部毎木調査等業務（梶並・八田・井本・その他会員）

樹木の継続的なデータ蓄積とともに、維持管理等に活用することを目的として毎木調査を行う。調査は令和 4 年度から園内の樹木の種名、位置、大きさ（DBH、樹高）を調査しラベルをつける。調査結果は地理情報データベースとして整備する。

- 千代田区街路樹調査（荒尾・増澤）

千代田区内の国道の現地調査を行った。東京都および千代田区の実業で調査済みの都道・区道とあわせて、活用方法を検討し提案した。

### 3. 自然環境保全等にかかわる人材育成・啓発活動事業

- 東京環境工科学園での人材育成（梶並・井本・八田）

東京環境工科学園学生を対象に、自然環境分野への GIS 講座を選択授業のひとつとして行った。講座は、基本的な内容の I（導入編）と、簡単な解析を含めた II（応用編）の 2 講座を実施した。ArcGIS のバージョンは 10.2 を使用した。

- ESRI ユーザー会議、コミュニティフォーラム等へ参加した。（梶並・増澤）

六本木ミッドタウンで開催された ESRI 社のコミュニティフォーラムではブース出展、セッションにおける話題提供等を行った。

- 地域自然情報研究会の開催

2022 年 11 月 エコギャラリーにて開催（ズームとのハイブリッド開催）

井本 郁子 氏：『廃校プールで浮島プロジェクト～竹と土と草から創った「いちかい浮島」』

### 4. 自然環境保全にかかわる活動支援事業

- 「野生生物と社会」学会への協力（荒尾）

前年度より継続して、「野生生物と社会」学会の行政研究部会の事務局を置いた。

- NPO 法人野生生物調査協会

協力関係を継続した。

- 西武・狭山丘陵パートナーズ指定管理業務（増澤・荒尾）

東京都建設局の都立公園指定管理者である西武狭山丘陵パートナーズの構成員として、「都

立公園狭山丘陵グループ」に参加した。パートナーズ構成員としての参画は令和 5 年度 3 月に終了した。

- 阿蘇草原再生協議会（増澤）

前期に引き続き、構成員として協議会本会・草原学習小委員会に出席参画した。

- 上サロベツ自然再生協議会

引き続き構成員として、再生技術部会および再生普及部会に参画した。

- 令和 4 年度緑地管理における二酸化炭素の生態貯留と土壌貯留の促進事業（出光興産株式会社・地域環境計画）（逸見・増澤・荒尾）

2022 年度には出光興産株式会社北海道製油所(苫小牧市)における工場緑地のバイオマス資源を活用した二酸化炭素吸収量増加の実証試験を共同で実施した。2023 年度は学会発表や技術報告の作成をすすめた。

※出光興産株式会社北海道製油所は、第 10 回みどりの社会貢献賞（都市緑化機構）を受賞されたほか、環境省認定 OECM の登録候補地となっている。

- 30by30 アライアンス（増澤）

令和 4 年度（2022 年度）からアライアンスメンバーとして活動をすすめている。

- 東京都街路樹調査への協力（梶並・増澤・荒尾・八田）

東京都で実施している街路樹調査について、その調査内容や実施方法についてアドバイス等を行った。

- いちかい浮島プロジェクトへの協力（井本）

プログラムは 2022 年 3 月に終了。2022 年度はキンブナ釣り大会などにあわせて、ポスター展示を行った。またキンブナプロジェクトを主宰する続谷里の会を交えて報告会および今後の活動方針などを話し合った。2023 年 6 月には釣り大会に合わせてミニ浮島作成ワークショップおよびポスター展示を行った。

※（公社）日本技術士会栃木県支部活動として里山資源の保全活用と地域活性化を企画し市貝町に提案。地方創生プログラムの助成を受けて実行した。

## 5. その他の事業

- メーリングリスト・ホームページの維持管理

- ・ ホームページ等による広報を行った。
- ・ 広報を会員への情報提供の重要な手段と考え、その改善につとめた。あわせてメーリングリストの管理を行い、メーリングリストは入退会に応じて随時管理した。
- ・ ホームページにあわせて Facebook による広報を行った。